

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後スクールDOORS			
○保護者評価実施期間	R7年4月7日 ～ R7年4月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	R7年4月21日 ～ R7年4月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して通所を楽しみにしている環境を作れていること。	子どもたちの状況を常に把握をし、変化が見られた時は保護者様と情報共有をし適切な対応に繋げている。	毎日のミーティングを強化していき、その場にはいない職員にも情報共有を徹底していく。
2	事業所の支援に満足してもらえるよう集団活動でも個々に合わせた支援を行っているところ。	個別支援計画に沿って個々の目標を全体で把握し、支援を実践している。	個々で目標に対しての解釈のずれが生じないように職員間で共通理解をしていく。
3	言語療法士、心理士、作業療法士等の訓練を通して専門性の高い支援をしているところ。	個別の訓練や集団での様子を把握することで、子どもの様々な場面から評価をし、支援に活かしている。	専門的な助言を保護者様にも伝えられるよう機会を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちとの交流の機会をあまり作れていない。	6月に開所して概ねの1年の流れを作っていた為、この部分での行動までには至らなかった。	今、実現に向けて計画を立てているので、今後地域交流の機会を作っていく予定。
2	保護者会の開催をしていない。	6月に開所した為、保護者会の開催には至らなかった。	5月に保護者会の開催を予定しており、今後も定期的に開催できるよう計画をしている。
3	相談しやすい環境づくり。	保護者様からの面談は定期的に行っているが、普段もう少し気軽に話せる場を設定できなかった。	子育てサポートを活用し、保護者様が気軽に事業者に来られるような環境づくりをする。